

八多小学校だより

平成30年度
9月号
神戸市立八多小学校



さあ、2学期！ ～充実の学校生活を～

それにしても今年の夏は異常に暑かった。命の危険すら感じさせられるような猛暑の連続でした。1学期の終業式でも、命を守る行動について指導しました。子供たちはその約束を守り元気な姿を見せてくれました。いよいよ2学期が始まります。久しぶりにさわやかな子供たちの笑顔を見ると、私たちの気持ちまで元気が出ます。

「やっと、学校がはじまる」と、つぶやかれる保護者のお声も耳にすることがありますが、きっと各ご家庭で充実した毎日を過ごされたことでしょう。また、地域の皆様には、プール開放、地域のイベント、ラジオ体操、地域見守り・・・、子供たちのためにすばらしい夏の思い出を提供してくださり、また見守っていただきました。心からお礼申し上げます。おかげさまでたくさんの思い出を作り、さまざまな体験を積み重ね、元気にそして一層逞しくなって新学期を迎えることができました。たくさんの頑張りがあったことでしょう。夏休みの頑張りや体験、培った自信が、2学期からの学習や活動の随所に表れてくることと思います。

立秋は過ぎたとはいえ、残暑はまだまだ厳しいです。9月は生活のリズムの崩れやすい時期ですが、早寝早起き、朝食をしっかりとり、規則正しい生活で毎日元気に登校してほしいと思います。2学期は学校生活の中で最も充実させたい時期です。季節もよく、豊富な内容の学習に取り組む中で、友達と話し合い、考え合い、練り上げながら、友達と一緒に自分の力が高まっていく充実感を味わってほしいと思っています。

9月には運動会、11月には音楽会、6年生の修学旅行、各学年の校外学習や体験学習など、多くの行事が予定されています。行事は「大きな山」にたとえられます。一つ一つの大きな山を乗り越え、更に大きな山を乗り越える力と経験を積みながら子供たちの成長の機会とさせたいと考えています。学校生活で学ぶことは、教科を学習するだけではありません。学年の活動、委員会・クラブなどの異年齢の活動など、友達や他学年の人たちとのかかわりの中で人間関係も学んでいきます。

仲間とともに、学習することを通してコミュニケーションする力を育もうとしています。これは、一人では学ぶことができない大切なことです。そして一つ一つの行事を、子供たち同士助け合い、励ましあいながらコミュニケーションをとり乗り越えていくことで、健やかな成長につながることを願っています。子供たち一人ひとりのよさを日々大事にしなが、その力を最大限に高められるように、2学期も教職員全員力を合わせ頑張りたいと思います。皆様のご支援とご協力をよろしく願いいたします。

校長 小原 耕司

「新学習」を担当して

今年度より新学習を担当させていただいています。

新学習システムも子どもへのさまざまな関わり方がありますが、今年度は、5、6年の算数の複数指導を中心に関わらせていただいています。「10歳の壁」と言われる4年生の段階を経て、さらに内容が抽象的、論理的になり中学校へとつながっていく大切な段階です。

一時間一時間の算数の学習で、一人ひとりの子ども達が「分かった。」「できた。」「楽しかった。」とその一時間の学習の目当てが達成できるように、担任と力を合わせて指導に当たっています。分かった、できたという時の子ども達のうれしそうな姿を見て、満足そうな笑顔は最高です。

また、他の学年とも関わっています。一学期は、一年生といろいろな学習や活動を共にしたり、四年生に入って国語や総合、英語の学習を一緒にしたりしました。また、三年生の校外学習に付き添った際は、港めぐりの船がゆれにゆれて大変でしたが、メリケンパークで楽しいひとときを過ごしました。全校の子ども達と学習や行事で関わることができうれしく思います。

これからも担任と力を合わせ、複数の目と心で子ども達を見つめ、子ども達がより楽しく充実した学校生活を送れるよう、微力ながら努めてまいりたいと思います。

新学習システム

松本 佐登美

